

### I 第21週の発生動向 (2015/5/18~5/24)

1. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内で**警報**が発令されました。
2. 感染性胃腸炎については、患者報告数が211人から181人に減少しました。
3. 手足口病については、19人から29人に増加しました。
4. 県内インフルエンザ情報(2014/15シーズン)については、今回をもって終了します(型別等の情報については随時掲載します)。

### II 第21週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
	小児科 内科	13	1.00	8	0.53	6	0.40	2	0.29	3	0.33	2	0.33	34	
RSウイルス感染症			2	0.22	4	0.40							6	0.14	4
咽頭結膜熱	14	1.75	3	0.33	1	0.10	1	0.20	2	0.33			21	0.50	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	1.50	7	0.78	34	3.40	1	0.20	11	1.83	3	0.75	68	1.62	-4
感染性胃腸炎	76	9.50	13	1.44	29	2.90	9	1.80	13	2.17	41	10.25	181	4.31	-30
水痘	2	0.25	3	0.33	3	0.30	2	0.40			3	0.75	13	0.31	-2
手足口病	16	2.00	6	0.67	6	0.60	1	0.20					29	0.69	10
伝染性紅斑	1	0.13	2	0.22	11	1.10			12	2.00	4	1.00	30	0.71	-7
突発性発しん	2	0.25	7	0.78	6	0.60			2	0.33	3	0.75	20	0.48	6
百日咳															0
ヘルパンギーナ															-1
流行性耳下腺炎	2	0.25	1	0.11	1	0.10							4	0.10	0
眼科															0
急性出血性結膜炎															0
流行性角結膜炎	1	0.50			4	2.00							5	0.45	-1
基幹															0
クラミジア肺炎															-1
細菌性髄膜炎															2
マイコプラズマ肺炎					2	2.00					2	2.00	4	0.67	-1
無菌性髄膜炎															1
感染性胃腸炎(ロタウイルス)					1	1.00					6	6.00	7	1.17	1

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

### III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患):弘前1人、八戸1人、上十三3人(2015年計:126人)
- ・つつが虫病(四類全数把握疾患):青森市+東地方1人(2015年計:2人)
- ・クロイツフェルト・ヤコブ病(五類全数把握疾患):八戸1人(2015年計:1人)

### IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

## 感染症の窓

### 伝染性紅斑(五類定点把握疾患)

頬に出現する紅斑を主症状とする発疹性疾患である、伝染性紅斑の発生が最近全国的に増加してきています。ヒトパルボウイルスB19の感染により両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ(ほっぺ)病」と呼ばれ、例年、年始から7月上旬頃にかけて症例数が増加するパターンをとります。青森県の定点当たり報告数をみると、昨年以降全国より高い値で推移しており、今後の動向に注意が必要です(図1)。

好発年齢は幼児・学童で、青森県内においても5歳をピークとする10歳未満の患者がほとんどです(図2)。4~15日の潜伏期間の後、顔面、特に頬部に境界明瞭な紅斑が出現し、続いて四肢に対側性にレース様の紅斑が出現します。発疹の他に発熱、関節痛などの症状を示すこともあります。予後は通常良好ですが、妊婦では胎児水腫又は流産を起こすことがあります。紅斑の時期にはほとんど感染力はありませんが、感染経路は通常飛沫又は接触感染なので、特に妊婦などは流行時期には人混みを避け、手洗いを励行することなどが大切です。

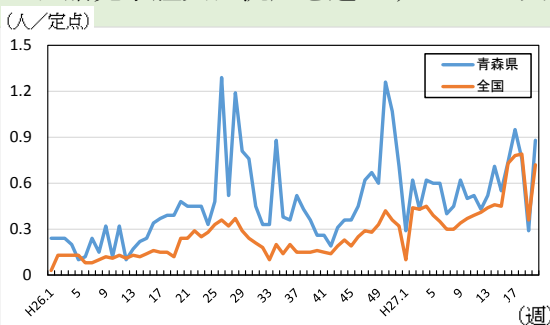


図1: 定点当たり報告数の推移(2014年第1週~2015年第20週)

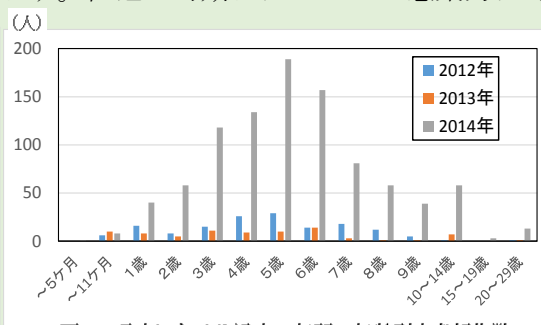


図2: 県内における過去3年間の年齢別患者報告数

は通常飛沫又は接触感染なので、特に妊婦などは流行時期には人混みを避け、手洗いを励行することなどが大切です。

【参考】厚生労働省HP、国立感染症研究所HP

## V 県内インフルエンザ情報

第21週の患者報告数は34人で、迅速診断キットによる型別はA型8人、B型26人でした。

**警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点**

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

### 保健所管内別届出人数 (人)

週	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
東地方	11	13	9	3	1		1		1			2	1	1	1		
弘前	444	275	190	113	80	56	70	40	42	13	20	24	14	9	3	10	8
八戸	395	287	177	98	62	56	50	31	21	11	8	11	14	18	4	12	6
五所川原	121	110	66	50	41	18	3	4	2	3	3	3	1	1		2	2
上十三	328	214	170	131	140	93	57	34	16	8	4	11	19	13	4	8	3
むつ	325	236	140	59	50	66	65	38	22	13	8	7	10	2	5	4	2
青森市	612	484	277	148	54	66	60	53	36	24	20	14	18	12	9	7	13
合計	2236	1619	1029	602	428	355	306	200	140	72	63	72	77	56	26	43	34

### A型 (迅速診断キットによる型別です) (人)

週	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
東地方	11	13	9	3	1		1		1			2	1				
弘前	442	274	183	111	76	45	63	32	30	8	17	22	13	5		2	
八戸	392	276	163	93	56	51	49	29	20	10	2	4	2	2			
五所川原	121	110	66	49	40	18	3	4	2	2	3	3	1			1	1
上十三	303	196	159	125	135	91	55	29	14	4	2	3				1	
むつ	322	235	139	59	50	66	65	37	22	12	8	7	10	2	1		
青森市	592	455	268	144	53	64	54	53	33	21	12	13	1	1	1	2	7
合計	2183	1559	987	584	411	335	290	184	122	57	44	54	28	10	2	6	8

### B型 (迅速診断キットによる型別です) (人)

週	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
東地方														1	1		
弘前		1	3	2	4	11	7	8	12	5	3	2	1	4	3	8	8
八戸			3	3	4	4	1	2	1	1	6	6	12	16	4	12	6
五所川原				1	1					1				1		1	1
上十三		3	1				1	5	2	4	2	8	18	11	4	7	3
むつ	3	1	1					1		1					4	4	2
青森市	2	2	1	1	1	2	6		3	3	8	1	15	11	8	5	6
合計	5	7	9	7	10	17	15	16	18	15	19	17	46	44	24	37	26

### 年齢区分別(人)

週	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
～5ヶ月	5	11	8	2	2	3											
～11ヶ月	15	15	12	7	3	4	2	1	1	4	1						
1歳	66	52	31	37	22	14	13	3	7	3	10	6	1	4			1
2歳	79	67	40	36	28	13	18	6	8	3	5	8	3	2			1
3歳	86	66	49	24	22	13	15	12	6	3	2	1	4		1		1
4歳	80	56	47	45	18	16	20	13	7	1	4	7	8	2		3	
5歳	93	66	55	39	24	14	27	8	4			8	2		1		2
6歳	113	95	64	30	20	30	20	14	3	1	1		6	3		1	1
7歳	107	100	60	30	16	12	14	5	12	2	1	1	10	5	2	2	1
8歳	119	109	57	14	22	24	14	6	7	1	1		3	2		2	1
9歳	120	72	57	27	26	20	11	9	6			5	4	1	1	1	
10～14歳	634	383	209	135	66	36	26	42	26	6	2	7	14	7	6	5	4
15～19歳	87	67	43	21	14	20	11	6	4	3	4	2	6	14	5	9	4
20～29歳	69	46	23	28	17	17	20	12	10	4	3	4	2	1	1	1	3
30～39歳	136	114	60	24	29	26	19	18	12	5	5	7	2	5	2	1	4
40～49歳	130	82	64	27	15	14	22	9	6	14	8	7	7	1	2	2	5
50～59歳	87	55	46	17	22	10	12	10	4	7	2	7	1	3	3	6	2
60～69歳	73	59	48	21	32	21	13	14	6	8	4	1	3	3	2	4	3
70～79歳	61	51	26	17	18	20	15	2	5	4	3	1	1	3		4	
80歳以上	76	53	30	21	12	28	14	10	6	3	7					2	1

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第11週～2015年第21週）

週	期 間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
11	H27.3.9 ~ H27.3.15						
12	H27.3.16 ~ H27.3.22	カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人 梅毒1人	アメーバ赤痢1人				
13	H27.3.23 ~ H27.3.29			侵襲性インフルエンザ菌感染症1人 水痘(入院例)1人			
14	H27.3.30 ~ H27.4.5						
15	H27.4.6 ~ H27.4.12			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人			
16	H27.4.13 ~ H27.4.19			アメーバ赤痢1人			
17	H27.4.20 ~ H27.4.26	カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人				侵襲性肺炎球菌感染症1人	
18	H27.4.27 ~ H27.5.3		つつが虫病1人				
19	H27.5.4 ~ H27.5.10			侵襲性肺炎球菌感染症1人			
20	H27.5.11 ~ H27.5.17			侵襲性肺炎球菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人			
21	H27.5.18 ~ H27.5.24	つつが虫病1人		クロイツフェルト・ヤコブ病1人			

VII 結核(二類全数把握疾患) (2015年第11週～2015年第21週)

単位：人

週	期 間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
11	H27.3.9 ~ H27.3.15	3	1	1	3		1
12	H27.3.16 ~ H27.3.22	1	2	1	1	2	
13	H27.3.23 ~ H27.3.29	2		4	1	1	
14	H27.3.30 ~ H27.4.5		2	4	1		
15	H27.4.6 ~ H27.4.12		1	1		1	1
16	H27.4.13 ~ H27.4.19		1		1		
17	H27.4.20 ~ H27.4.26	3	1			1	
18	H27.4.27 ~ H27.5.3		2	2			
19	H27.5.4 ~ H27.5.10		1	1		1	
20	H27.5.11 ~ H27.5.17	4		1		1	2
21	H27.5.18 ~ H27.5.24		1	1		3	

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2015年第1週～第19週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクサツウイルス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マリア	ライム病	レジオネラ症	レブスピア症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症
累積報告数	7916	3	45	340	18	13	70	106	5	3	1	6	4	32	80	9	2	7	1	374	3	358	73	404
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性心臓炎	侵襲性腸炎	侵襲性肺炎	水痘(入院例)	梅毒	種痘性クリプトコックス症	破傷風	パルボウイルス性黄色ブドウ球菌感染症	パルボウイルス性赤痢	風しん	麻疹	薬剤耐性アシナガバネム						
累積報告数	202	5	59	185	459	28	94	14	1003	98	696	44	25	1	18	70	20							

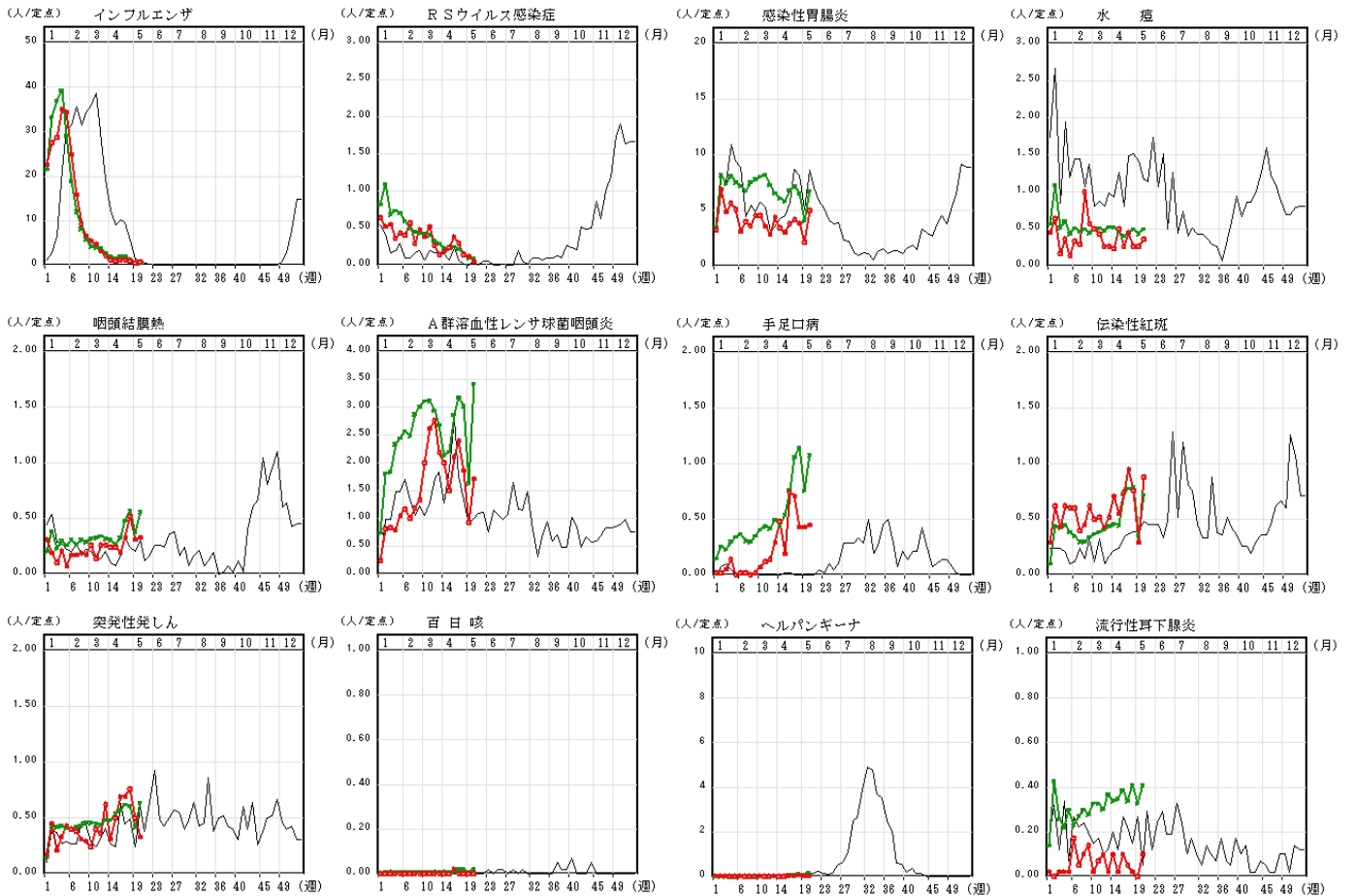
青森県

(2015年第1週～第21週累計)

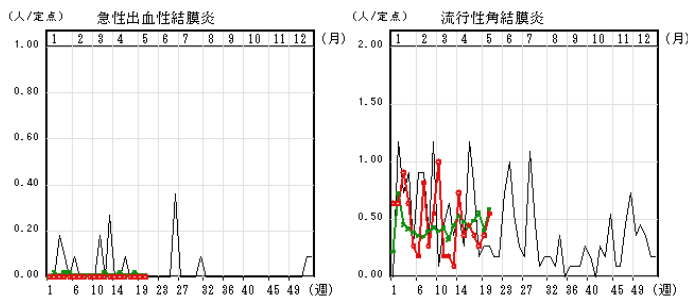
分類	二類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	つつが虫病	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒		
累積報告数	126	2	2	5	6	1	2	1	7	2			

## IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第20週)

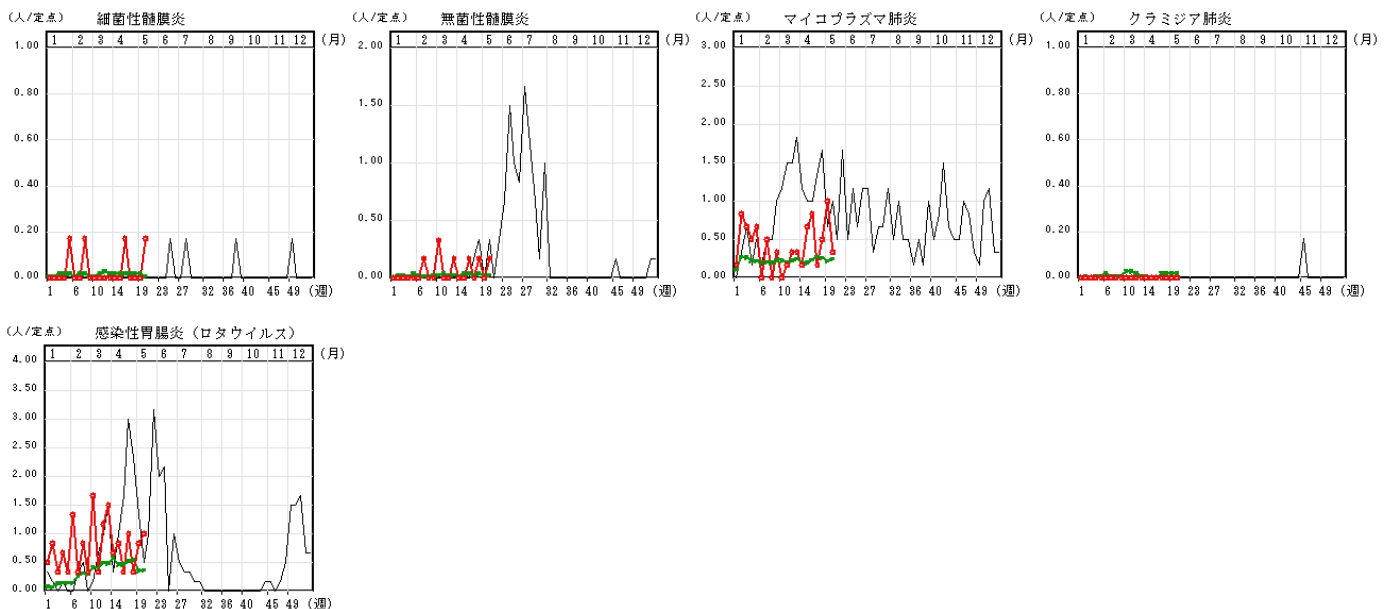
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、 ×—×は2015年全国



## X 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第20週)



## XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第20週)



## XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第21週の報告はありませんでした。

### 平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月				計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18週	19週	20週	21週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	0	0	0	5
	発症者数	61	0	5	19	0	0	0	0	85
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	0	10	0	0	0	0	0	10
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	0	0	0	21
	発症者数	168	94	62	19	27	0	0	0	370